



地球大学アドバンス 第38回

[TOKYO SHIFT シリーズ 第10回]

地球都市のソフトランディング

2011.1.24 mon

70億に達しつつある地球人口の半分以上が都市に暮らす、という未曾有の「都市化」時代。都市人口は世界で毎日約17万人増え、毎週100万都市を建設するような勢いで都市が膨張しています。アジアやアフリカでは人口一千万以上のメガシティが続々誕生し、特にスラムなど劣悪な環境のなかで暮らす人口が急増——。

感染症やテロ、環境負荷の最大の発生源であり、同時に気候変動やピークオイル、食糧危機に最も「脆弱」なこうした都市の膨張は、地球社会の時限爆弾であり、人類最大のリスクマネジメント課題といえるでしょう。一方、先進国の都市でも、中心市街地からの人口流出、スプロール化と居住環境の悪化、人口の急速な高齢化などさまざまな問題を抱え、都市政策の転換と新たなタウンマネジメント手法の確立が急務となっています。また移民の増加により、地球規模の「南北問題」が都市内格差として顕現しているような状況も世界中で見られます。

今回の地球大学では、こうした人類的リスクとしての「都市問題」を地球目線であらためて捉え直したうえで、世界のタウンマネジメントの新たな流れ、低炭素で人間中心的な市街地のボトムアップ創成の試みについて紹介します。そして、そうした流れのなかで日本、TOKYOはどう転換しようとしているのか？——10年後、50年後を見据えたTOKYOの都市政策の最前線を語っていただきます。

[topics]

- 地球都市の爆発、増大するエコロジカルフットプリント
- 世界の都市問題の現状
- 先進都市のタウンマネジメント手法～「中心市街地活性化」から「低炭素化」まで
- 「都市を経営する」という視点こそ、都市問題解決に向けた大きなカギ
- TOKYOの未来～100年前の都市デザインのままでよいのか？

開催概要

日 時: 2011年1月24日(月) 18:30～20:30

ゲスト: 村木 美貴 氏

(千葉大学大学院工学研究科准教授、都市政策・タウンマネジメント研究)

小原 昌 氏

(東京都環境局・計画課長、低炭素化・自動車公害対策担当)

ほか

企画・司会: 竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会 場: 新丸ビル10階「エコツェリア」

地図: <http://ecozeria.jp/access.htm>

定 員: 50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法: 事前登録が必要です

事前登録URL <http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費: エコツェリア会員企業に所属の方: 無料

*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方: 有料2,000円

プログラム 18:00 受付開始/18:30 開演/20:30 閉会